

1

問題のページへ

(1) 原点を通る直線の方程式を、 $y = mx$  または  $x = 0$  と表す。(i)  $y = mx$  のときこの直線上の任意の点を  $(t, mt)$  とすると、 $f_n$  によって移される点は、

$$\begin{pmatrix} 1-n & 1 \\ -n(n+1) & n+2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} t \\ mt \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} (1-n+m)t \\ (-n^2-n+mn+2m)t \end{pmatrix}$$

この点が、 $y = mx$  上にあることより、 $(-n^2-n+mn+2m)t = m(1-n+m)t$ 任意の  $t$  に対して成立するので、

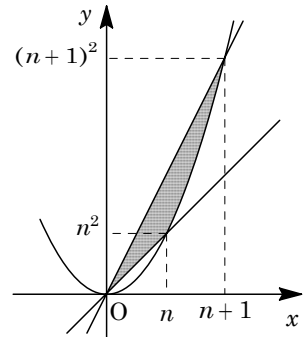
$$-n^2-n+mn+2m = m(1-n+m), \quad m^2 - (2n+1)m + n(n+1) = 0$$

すると、 $(m-n)(m-n-1) = 0$  から、 $m = n, n+1$ (ii)  $x = 0$  のときこの直線上の任意の点を  $(0, t)$  とすると、 $f_n$  によって移される点は、

$$\begin{pmatrix} 1-n & 1 \\ -n(n+1) & n+2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ t \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} t \\ (n+2)t \end{pmatrix}$$

この点は、 $t \neq 0$  のとき  $x = 0$  上にないので、条件に適さない。(i)(ii)より、求める2直線の方程式は、 $y = nx$ 、 $y = (n+1)x$  である。(2) 曲線  $y = x^2$  と直線  $y = nx$ 、 $y = (n+1)x$  の原点以外の交点は、それぞれ  $(n, n^2)$ 、 $(n+1, (n+1)^2)$  となり、右図の網点部の面積  $S_n$  は、

$$\begin{aligned} S_n &= \frac{1}{2}(n+1)(n+1)^2 - \frac{1}{2}n \cdot n^2 - \int_n^{n+1} x^2 dx \\ &= \frac{1}{2}(n+1)^3 - \frac{1}{2}n^3 - \left\{ \frac{1}{3}(n+1)^3 - \frac{1}{3}n^3 \right\} \\ &= \frac{1}{6}(n+1)^3 - \frac{1}{6}n^3 = \frac{1}{6}(3n^2 + 3n + 1) \end{aligned}$$

(3)  $S_n - \frac{1}{6} = \frac{1}{2}(n^2 + n) = \frac{1}{2}n(n+1)$  より、

$$\begin{aligned} \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{S_n - \frac{1}{6}} &= \sum_{n=1}^{\infty} \frac{2}{n(n+1)} = 2 \sum_{n=1}^{\infty} \left( \frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) = 2 \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left( \frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) \\ &= 2 \lim_{n \rightarrow \infty} \left( 1 - \frac{1}{n+1} \right) = 2 \end{aligned}$$

## [ 解 説 ]

不変直線を題材にした基本問題です。計算量も少なめです。

2

問題のページへ

(1) 条件より,  $f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos t - x \sin 2t| dt$  を変形して,

$$f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos t - 2x \sin t \cos t| dt = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos t |1 - 2x \sin t| dt$$

(i)  $2x < 1$  ( $x < \frac{1}{2}$ ) のとき

$$f(x) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos t (1 - 2x \sin t) dt = \left[ \sin t - x \sin^2 t \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 1 - x$$

(ii)  $2x \geq 1$  ( $x \geq \frac{1}{2}$ ) のとき

まず,  $0 < t < \frac{\pi}{2}$  において,  $1 = 2x \sin t$  である  $t$  はただ 1 つ存在し, これを  $t = \alpha$  とおくと,  $\sin \alpha = \frac{1}{2x}$  となり,



$$\begin{aligned} f(x) &= \int_0^{\alpha} \cos t (1 - 2x \sin t) dt + \int_{\alpha}^{\frac{\pi}{2}} -\cos t (1 - 2x \sin t) dt \\ &= \left[ \sin t - x \sin^2 t \right]_0^{\alpha} - \left[ \sin t - x \sin^2 t \right]_{\alpha}^{\frac{\pi}{2}} \\ &= \sin \alpha - x \sin^2 \alpha - (1 - x) + \sin \alpha - x \sin^2 \alpha \\ &= 2 \cdot \frac{1}{2x} - 2x \cdot \frac{1}{4x^2} - 1 + x = x + \frac{1}{2x} - 1 \end{aligned}$$

すると,  $f'(x) = 1 - \frac{1}{2x^2} = \frac{2x^2 - 1}{2x^2}$  から,  $f(x)$

の増減は右表のようになる。

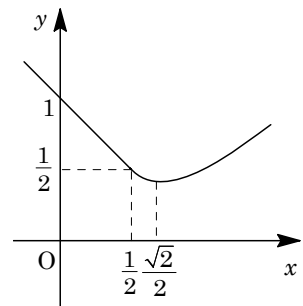
(i)(ii)より,  $f(x)$  の最小値は,

$$f\left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right) = \frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} - 1 = \sqrt{2} - 1$$

$x$	$\frac{1}{2}$	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$	...
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$	$\frac{1}{2}$			

$$(2) \int_0^1 f(x) dx = \frac{1}{2} \left( \frac{1}{2} + 1 \right) \cdot \frac{1}{2} + \int_{\frac{1}{2}}^1 \left( x + \frac{1}{2x} - 1 \right) dx$$

$$\begin{aligned} &= \frac{3}{8} + \left[ \frac{x^2}{2} + \frac{1}{2} \log x - x \right]_{\frac{1}{2}}^1 \\ &= \frac{3}{8} + \frac{1}{2} \left( 1 - \frac{1}{4} \right) - \frac{1}{2} \log \frac{1}{2} - \frac{1}{2} \\ &= \frac{1}{4} + \frac{1}{2} \log 2 \end{aligned}$$



### [ 解 説 ]

昨年と同様な絶対値の付いた関数の定積分です。(1)の最小値については, 相加平均と相乗平均の関係を利用する手もあります。

3

問題のページへ

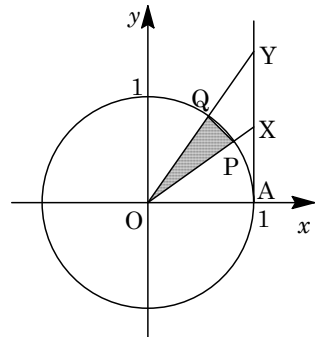
$t > 0$  として、 $X(1, t)$  とおくと、条件より、 $Y(1, kt)$  となる。ここで、 $\angle AOX = \alpha$ 、 $\angle AOY = \beta$  とおくと、

$$\tan \alpha = t, \quad \tan \beta = kt \dots\dots$$

さて、 $OPQ$  の面積を  $S$  とすると、

$$S = \frac{1}{2} \cdot 1^2 \sin(\beta - \alpha) = \frac{1}{2} \sin(\beta - \alpha) \dots\dots$$

$S$  が最大となるのは、 $0 < \beta - \alpha < \frac{\pi}{2}$  から  $\beta - \alpha$  が最大となるときである。すなわち、 $\tan(\beta - \alpha)$  が最大値をとる場合である。



そこで、 $f(t) = \tan(\beta - \alpha)$  とおくと、 から、 $f(t) = \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 + \tan \beta \tan \alpha} = \frac{(k-1)t}{1 + kt^2}$

$$\begin{aligned} f'(t) &= \frac{(k-1)\{(1+kt^2) - t \cdot 2kt\}}{(1+kt^2)^2} \\ &= \frac{(k-1)(1-kt^2)}{(1+kt^2)^2} \end{aligned}$$

$t$	0	...	$\frac{1}{\sqrt{k}}$	...
$f'(t)$		+	0	-
$f(t)$		↗		↘

すると、 $f(t)$  の値は右表のように増減し、 $t = \frac{1}{\sqrt{k}}$

のときに最大となる。よって、最大値は、

$$\tan(\beta - \alpha) = f\left(\frac{1}{\sqrt{k}}\right) = \frac{(k-1) \cdot \frac{1}{\sqrt{k}}}{1 + k \cdot \frac{1}{k}} = \frac{k-1}{2\sqrt{k}}$$

このとき、 $\sin(\beta - \alpha) = \frac{k-1}{\sqrt{(2\sqrt{k})^2 + (k-1)^2}} = \frac{k-1}{k+1}$  となり、 から  $S$  の最大値は、

$$S = \frac{1}{2} \cdot \frac{k-1}{k+1} = \frac{k-1}{2(k+1)}$$

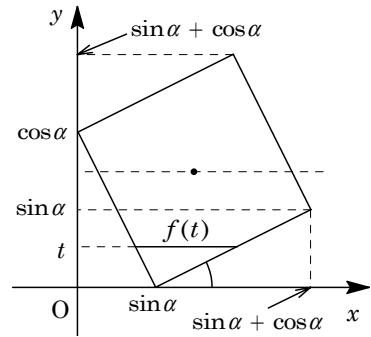
[ 解 説 ]

図形量の最大値を問う基本題です。 $\theta$  が鋭角のとき、 $\sin \theta$  と  $\tan \theta$  は、ともに単調増加する関数という事実を利用しています。

4

問題のページへ

(1) 1 辺の長さが 1 である正方形  $D$  を、右図のように配置し、 $D$  を直線  $y = k$  のまわりに回転させて得られる回転体を考える。ここで、 $D$  の対角線の交点が  $(\frac{\sin \alpha + \cos \alpha}{2}, \frac{\sin \alpha + \cos \alpha}{2})$  であるので、対称性から  $0 < k < \frac{\sin \alpha + \cos \alpha}{2}$  とし、さらに  $0 < \alpha < \frac{\pi}{4}$  としても一般性を失わない。



さて、直線  $y = t$  ( $0 < t < \sin \alpha + \cos \alpha$ ) が、 $D$  によって切り取られる線分の長さを  $f(t)$  とすると、

(a)  $0 < t < \sin \alpha$  のとき  $f(t) : \frac{1}{\cos \alpha} = t : \sin \alpha$  より、 $f(t) = \frac{t}{\sin \alpha \cos \alpha}$

(b)  $\sin \alpha < t < \cos \alpha$  のとき  $f(t)$  は定数であり、 $f(t) = \frac{1}{\cos \alpha}$

(c)  $\cos \alpha < t < \sin \alpha + \cos \alpha$  のとき

$$f(t) : \frac{1}{\cos \alpha} = (\sin \alpha + \cos \alpha - t) : \sin \alpha \text{ より、} f(t) = \frac{\sin \alpha + \cos \alpha - t}{\sin \alpha \cos \alpha}$$

以下、正方形  $D$  の直線  $y = k$  まわりの回転体の体積を考える。

(i)  $k = 0$  のとき

このときの回転体の体積を  $V_0$  とすると、 $V_0 = \int_0^{\sin \alpha + \cos \alpha} 2\pi t f(t) dt$

(ii)  $0 < k < \sin \alpha$  のとき

このときの回転体の体積を  $V_1$  とすると、

$$\begin{aligned} V_1 &= \int_k^{\sin \alpha + \cos \alpha} 2\pi(t - k) f(t) dt \\ &< \int_k^{\sin \alpha + \cos \alpha} 2\pi t f(t) dt \\ &< \int_0^{\sin \alpha + \cos \alpha} 2\pi t f(t) dt \end{aligned}$$

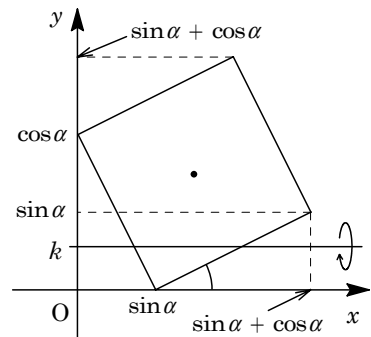
よって、 $V_1 < V_0$  である。

(iii)  $\sin \alpha < k < \frac{\sin \alpha + \cos \alpha}{2}$  のとき

このときの回転体の体積を  $V_2$  とすると、

$$\begin{aligned} V_2 &= \int_0^k 2\pi(k - t) f(t) dt + \int_k^{\sin \alpha + \cos \alpha} 2\pi(t - k) f(t) dt \\ &< \int_0^k 2\pi(k - t) f(t) dt + \int_k^{\sin \alpha + \cos \alpha} 2\pi t f(t) dt \dots \dots \end{aligned}$$

ここで、 $I = \int_0^k t f(t) dt - \int_0^k (k - t) f(t) dt$  とおくと、



$$\begin{aligned}
 I &= \int_0^k (2t-k)f(t)dt = \int_0^{\sin\alpha} \frac{(2t-k)t}{\sin\alpha\cos\alpha} dt + \int_{\sin\alpha}^k \frac{2t-k}{\cos\alpha} dt \\
 &= \frac{1}{\sin\alpha\cos\alpha} \left[ \frac{2}{3}t^3 - \frac{1}{2}kt^2 \right]_0^{\sin\alpha} + \frac{1}{\cos\alpha} [t^2 - kt]_{\sin\alpha}^k \\
 &= \frac{1}{\cos\alpha} \left( \frac{2}{3}\sin^2\alpha - \frac{1}{2}k\sin\alpha \right) - \frac{1}{\cos\alpha} (\sin^2\alpha - k\sin\alpha) \\
 &= \frac{\sin\alpha}{\cos\alpha} \left( -\frac{1}{3}\sin\alpha + \frac{1}{2}k \right) = \frac{\sin\alpha}{2\cos\alpha} \left( -\frac{2}{3}\sin\alpha + k \right) > 0
 \end{aligned}$$

よって、 $I > 0$  から、 $\int_0^k (k-t)f(t)dt < \int_0^k tf(t)dt$  となり、

$$\int_0^k 2\pi(k-t)f(t)dt < \int_0^k 2\pi tf(t)dt \dots\dots\dots$$

$$\text{より、} V_2 < \int_0^k 2\pi tf(t)dt + \int_k^{\sin\alpha+\cos\alpha} 2\pi tf(t)dt = \int_0^{\sin\alpha+\cos\alpha} 2\pi tf(t)dt$$

よって、 $V_2 < V_0$  である。

(i) ~ (iii)より、回転体の体積は、軸が  $D$  と唯 1 点で交わるときに最大となる。

$$(2) (1) \text{より、} V_0 = 2\pi \int_0^{\sin\alpha} tf(t)dt + 2\pi \int_{\sin\alpha}^{\cos\alpha} tf(t)dt + 2\pi \int_{\cos\alpha}^{\sin\alpha+\cos\alpha} tf(t)dt$$

$$\text{ここで、} I_1 = \int_0^{\sin\alpha} tf(t)dt = \int_0^{\sin\alpha} \frac{t^2}{\sin\alpha\cos\alpha} dt = \frac{\sin^2\alpha}{3\cos\alpha}$$

$$I_2 = \int_{\sin\alpha}^{\cos\alpha} tf(t)dt = \int_{\sin\alpha}^{\cos\alpha} \frac{t}{\cos\alpha} dt = \frac{1}{2}\cos\alpha - \frac{\sin^2\alpha}{2\cos\alpha}$$

さらに、 $s = t - \cos\alpha$  とおくと、

$$\begin{aligned}
 I_3 &= \int_{\cos\alpha}^{\sin\alpha+\cos\alpha} tf(t)dt = \int_{\cos\alpha}^{\sin\alpha+\cos\alpha} \frac{t(\sin\alpha + \cos\alpha - t)}{\sin\alpha\cos\alpha} dt \\
 &= \frac{1}{\sin\alpha\cos\alpha} \int_0^{\sin\alpha} (s + \cos\alpha)(\sin\alpha - s) ds \\
 &= \frac{1}{\sin\alpha\cos\alpha} \int_0^{\sin\alpha} \{ -s^2 + (\sin\alpha - \cos\alpha)s + \sin\alpha\cos\alpha \} ds \\
 &= -\frac{\sin^2\alpha}{3\cos\alpha} + \frac{(\sin\alpha - \cos\alpha)\sin\alpha}{2\cos\alpha} + \sin\alpha = \frac{\sin^2\alpha}{6\cos\alpha} + \frac{1}{2}\sin\alpha
 \end{aligned}$$

$$\text{よって、} V_0 = 2\pi(I_1 + I_2 + I_3) = \pi(\sin\alpha + \cos\alpha) = \sqrt{2}\pi \sin\left(\alpha + \frac{\pi}{4}\right)$$

すると、 $0 < \alpha < \frac{\pi}{4}$  より、 $V_0$  は  $\alpha = \frac{\pi}{4}$  のとき最大値  $\sqrt{2}\pi$  をとる。

また、 $\alpha = 0$  のとき、回転体の体積の最大値は、 $\pi \cdot 1^2 \cdot 1 = \pi$  となる。

以上より、求める回転体の体積の最大値は、 $\sqrt{2}\pi$  である。

## [ 解 説 ]

一瞥した瞬間、難問というのがわかります。いわゆる円筒分割を利用した解答例ですが、評価の甘い箇所と辛い箇所が混在しています。